

(3) 千曲市における今後の松くい虫防除対策について

1. 平成26年度 空中散布実施結果

実施個所・面積	上山田地区(城山、堤山、天坂原) 45ha(1日目) 戸倉地区(八王子山、若宮、芝原、仙石、羽尾第四区) 35ha(1日目) 更埴地区(土口、生萱、倉科) 45ha(2日目)
使用薬剤	エコワン3フロアブル(農林水産省登録第 20897 号) 有効成分:チアクロプリド 成分濃度:3% 希釈倍数:7.5 倍 1haあたり 30 リットル散布
ヘリポート	6月17日 萬葉の里スポーツエリア 6月18日 雨宮緑地芝生広場 (順延はなく予定どおり実施)
使用ヘリ	ベル 206b 積載容量 3000 1回のフライトで 10ha 散布、所要時間は約 8 分。
リスクコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・地元説明会開催。4月9日 19時より上山田庁舎において開催。出席者は3名。 ・関係団体等にお知らせチラシ配布(54団体・者) ・散布地区の幼稚園・保育園、小中学校へチラシ配布(1,979枚) ・「空中散布に関わる申出書」提出件数 0件 ・市報6月号見開き 10・11 ページ(ホームページでも)、ケーブルネット千曲、屋代有線放送で告知。 ・要望のあった区・自治会に回覧用チラシを印刷し配布。通知先 20 区のうち、10区から要望があり回覧用チラシを配布した。(前年より4区増加)
安全確保対策	<p>長野県防除実施基準を遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散布区域は、病院・学校・住宅・公園等からの距離を 200m 以上離す。 ・風速制限は 3m/秒以下で実施。 ・散布は午前 7 時まで終了。 ・農薬成分測定調査を実施。試験紙を設置し薬剤の散布状況を把握。 ・㊦測定分析方法を見直し、ガスクロマトグラフ法から高速液体クロマトグラフ法に変更。(定量下限値は $0.2 \mu\text{g}/\text{m}^3$)

実施日時	<p>平成 26 年 6 月 17 日 日の出～午前 6 時 24 分(上山田地区) 平成 26 年 6 月 18 日 日の出～午前 5 時 39 分(戸倉・更埴地区)</p> <p>※終了時刻は水散布終了時刻 ※当初予定どおり</p> <p>【実施状況】</p> <p>17 日は夜明け前の風が心配されたが、現場の風速は 2m/s であつたため、基準の風速 3m/s を下回り、予定通り散布することができた。18 日は風もなく順調に実施することができた。</p>
農薬成分測定結果	<p>すべての地点(7箇所 56 検体)で濃度評価値(60 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)を下回り、定量下限値(0.2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)未満であつた。</p>
相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に関する窓口 上山田庁舎 経済部農林課 森林整備係 〒389-0897 長野県千曲市上山田温泉4丁目15番地1 電話026-275-1050 ・健康相談等に関する窓口 更埴庁舎 健康福祉部 健康推進課 保健センター健康づくり係 〒387-8511 長野県千曲市大字杭瀬下84番地 電話026-273-1111
緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法人 財団大西会 千曲中央病院 〒387-8512 長野県千曲市大字杭瀬下58番地 電話026-273-1212 ・医療法人 長野寿光会 上山田病院 〒389-0821 長野県千曲市上山田温泉3-34-3 電話026-275-1581 <p>※医師用資料「農薬中毒の症状と治療法第 14 版」を配布</p>

2. 平成27年度 空中散布計画について

使用薬剤	<p>エコワン3フロアブル(農林水産省登録第 20897 号)</p> <p>有効成分:チアクロプリド 成分濃度:3% 希釈倍数:7.5 倍 1haあたり 30 リットル散布</p> <p>【特長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効成分チアクロプリドとフロアブル製剤技術によって、“1回散布で松くい虫防除シーズンをカバーする”をコンセプトとして開発された松枯れ防止用の散布剤です。 ・有効成分チアクロプリドがマツノマダラカミキリ成虫の後食活動を<u>低薬量で長期間予防</u>します。 ・人や鳥獣に対する安全性が高い薬剤です。 ・<u>不快臭・刺激臭がありません</u>ので、薬剤調製時や散布時に作業員や周辺の住民に不快感を与える心配はありません。 ・通常の使用方法では、スギ、ヒノキ等の樹木や芝、野菜・果実等の農作物に<u>薬害の心配はありません</u>。 (散布後の天候条件や作物品種によっては薬害が生じる可能性があります) ・有効成分の魚毒性はA類ですので、通常の使用方法では水生生物への影響がほとんどありません。 ・<u>ミツバチやマルハナバチ等有用昆虫への影響が少ない薬剤</u>です。 ・有効成分の蒸気圧は低く、<u>大気中に拡散する心配がありません</u>。また、<u>土壌や河川に落下しても速やかに分解</u>されますので、<u>環境に対する負荷が少ない薬剤</u>です。 ・塗装面や墓石の表面に薬剤が付着しても、速やかに洗浄すれば着色や退色の心配はありません。 (塗装により、付着した薬剤が落ちにくい場合があるので、付着後は速やかに洗浄してください)
実施時期	平成 27 年 6 月中～下旬
リスクコミュニケーション	・地元説明会は平成 27 年 4 月上旬に上山田庁舎で開催したい。

3. 薬剤空中散布の散布区域の見直しについて（協議事項）

戸倉地区（若宮、芝原、仙石区）において、尾根の突き出ている箇所について、薬剤散布箇所となっているが、住宅地から 200m以上離すという安全への配慮から、実際には散布を行っていない。また、近年地球温暖化等の影響により松くい虫被害が、標高の高い地域にまで及ぶ傾向があることから、今回、実態に対応する形で散布区域を見直し、新たに林道仙石線西側一帯の松林（林班：2011-に、2012-は・に 2013-に）の概ね標高 800m付近までを散布区域として設定したい。（別図参照）

4. 枯損木調査について

長野地方事務所林務課林産係の指導を受け、上山田地区において、薬剤散布区域の松林と非薬剤散布区域の松林のうち各 100 本にマーキングを実施した。今後の松枯れの発生状況等の追跡調査を行う。

